

令和5年度デジタル田園都市国家構想 交付金実績報告書

地方創生推進タイプ

サービスデザイン導入による「ここなら(奈良)ではの人づくり」プロジェクト
(奈良県・天理市・王寺町による広域連携事業)

移住定住促進と関係人口創出によるまちづくり推進事業

1. 基本事項

事業名	サービスデザイン導入による「ここなら(奈良)ではの人づくり」プロジェクト 〔奈良県・天理市・王寺町による広域連携〕
総事業費	6,444,918 円
事業概要	<p>この取組みは、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した奈良県・天理市・王寺町の三者連携による事業を実施していきます。</p> <p>なら歴史芸術文化村は、歴史・芸術文化、食と農、産業（工芸）、教育セクションなど多様な分野が集結し、大学、民間企業、NPO、地域関係者など多様な主体が集う多機能複合施設であり、観光依存型地域振興からの脱却を目指しています。異なる分野を担う人材がお互いのフィールドを越えて対話・共創する場の構築を通じ、「サービスデザイン」(※) 思考を理解する人材を育成することを目的にしており、本市においてもなら歴史芸術文化村と連携を図り、付加価値の高い商品やサービスの提供につなげ地域経済の活性化を図ります。</p> <p>また、各事業について2025年の日本国際博覧会（大阪・関西万博）を見据え、インバウンドを含めた観光客の誘客や、それに伴う連携事業の実施、経済活性化を図ります。</p> <p>(※) サービスデザイン・・・顧客体験のデザインに加え、それを継続的に提供できる組織や仕組みもデザインすることで、新たな価値を創出する方法論のひとつ</p>

2. 重要業績評価指標

指標名	基準値	目標値	実績値		
	R2	R5	R3	R4	R5
<p>本事業は奈良県・天理市・王寺町との広域連携による交付金申請であり、KPIが奈良県のみを設定であるため、本市におけるKPIの設定はありません。</p>					

3. 事業効果

令和5年度の事業実績	
【1. デジタルを活用した芸術人材育成・誘致促進事業】	3,796,128 円
① アーティスト育成「共創」プログラム事業	1,412,425 円
<p>なら歴史芸術文化村が主催する滞在アーティスト誘致交流事業において、国内在住アーティスト1組を公募し、15組の応募があった中、選考委員により招聘アーティストを決定しました。帽子作家と美術家のユニットで、不要になった着物を集め、つなぎ合わせて作品の大布を作成し、成果展では大布の前で即興の舞を披露しました。</p> <p>市内を含め奈良県内各所で昔話にまつわる伝承や祭りなど積極的にリサーチ活動を行い、周辺地域の方々を対象とした手縫いワークショップと成果展を開催しました。</p> <p>市内では、天理のむかしばなし「あからがしら」の取材のため、「あからがしら」の行事を行う勝手神社のリサーチや荒蒔町自治会へ訪問し、地域の方に作品作りに協力していただく手縫いワークショップを開催するなど、創作活動のサポートを行いました。</p> <p>また、「Time Travelプロジェクト」と共催した「天理☆みりょく発見」では、市内小中学生が夏休みの課題として作品を制作し110点の提出がありました。その作品を通して生徒3名がアーティストと天理の魅力について話し合うことで、生徒が文化芸術に触れあう機会を創出しました。</p>	

② ワークショップや多言語化を通じた人材育成連携事業

1,883,703 円

なら歴史芸術文化村において、ミニ古墳出土鏡鑄造体験・オープン粘土勾玉づくり体験を実施し延べ437名に参加していただきました。地域連携展として開催した『物部氏の古墳 石上・豊田古墳群と別所古墳群』では、会期38日間で9,522名に会場していただきました。

また、天理市の黒塚古墳で出土された三角縁神獣鏡に描かれている「神獣」をモチーフに、アニメーションの基本技法である「コマ撮り」を体験するワークショップを小・中学生を対象に開催しました。

③ 映画地域活性化事業

500,000 円

なら国際映画祭が展開する映画制作プロジェクト「NARAtive(ナラティブ)」は平成21年から始まり、これまで県内各市村を撮影地として7作品が制作されました。各作品について、撮影地の自治体間の相互交流を促し魅力発信等することで観光文化の振興と関係人口増加、地域の活性化を目的として、撮影地の7自治体で「NARAtive撮影地ネットワーク協議会」を発足しました。

令和5年10月、東京・虎ノ門の「TOKYO NODE」において「NARAtive」映画作品の上映を行い、延べ300名以上の方(うち「二階堂家物語」:82名)に会場していただきました。また令和6年に開催されるパリ五輪を見据え、令和6年2月にパリ・コルシカ島で「NARAtive」映画作品の上映会を行いました。



『帽子作家・美術家によるワークショップ』



『なら歴史芸術文化村での体験イベント』



『二階堂家物語上映後のトークの様子』
加藤雅也氏 × 河瀬直美監督

【2. 「稼ぐ力」向上のための人材創出事業】

2,648,790 円

① 稼ぐ力向上のための天理ブランド活用促進事業

866,990 円

ブランド認定事業として、市内の地域資源を活かした魅力ある商品の掘り起こしを進めるため、認定産品を市広報紙やホームページ等で広く募集しました。認定審査会において「柿の辺(柿チップ)」「天理まんじゅう」「天理スタミナラーメン」「里山三年晩茶」の4品を新たに「天理ブランド」として認定しました。

② 「共創場」としての天理ブランド市開催委託業務

1,581,800 円

本市特産品をPRし、地元産業の周知及び再認識を図るため、天理ブランド認定制度と連携した販売のある街づくりを創出するコフンマルシェ(天理ブランド市)を毎月第2・4日曜日に開催しました。

③ 特産品開発事業補助金

200,000 円

天理ブランド認定制度で認定された柿、イチゴを本市特産品として沖縄の主要な市場で販路拡大するため、トップセールス等のPR活動を行いました。沖縄の流通事業者と連携し、安定した価格での販売が実現しました。



『ブランド認定品PRリーフレット』



『コフンマルシェ(天理ブランド市)』

4. 今後の事業の方針

令和6年度の事業予定							
拡充		継続	○ (市単独事業)	縮小		事業終了	
令和5年度をもって交付金事業は終了となりましたが、令和6年度も引き続き市の単独事業として継続していきます。							
【1. デジタルを活用した芸術人材育成・誘致促進事業】							
<p>① アーティスト育成「共創」プログラム事業</p> <p>奈良県が決定したアーティストを招聘し、奈良の豊かな歴史・芸術・文化を体験することで、地域との交流を深めながら、アーティストならではの新しい視点と切り口で表現する作品の制作・発表を行います。アーティストが2か月間滞在し、なら歴史芸術文化村を拠点としながら、なら歴史芸術文化村の来村者や地域の人との交流、自然や歴史などの地域の文化資源の紹介など、滞在アーティストの創作活動をサポートします。Art-Space TARNでの成果展覧会など、県と連携し、芸術文化エリアの賑わいを創造する体制を構築します。</p> <p>また、市内小学校に俳優・モデルとして活躍する加藤雅也氏を招き、多様な見方・考え方を養い、国際的に活躍できる人材を育成するための特別授業を実施します。</p> <p>② ワークショップや多言語化を通じた人材育成連携事業</p> <p>ワークショップや多言語化を通じた人材育成連携事業では、引き続き、なら歴史文化芸術村と連携を図りながら、オープン粘土勾玉・蠟石勾玉づくり体験等の歴史文化体験イベントや『和爾地域周辺の古墳時代展』などの各種地域展を開催します。</p> <p>③ 映画地域活性化事業</p> <p>なら国際映画祭2024で「NARActive」映画を上映します。</p> <p>また、2025年の日本国際博覧会（大阪・関西万博）を見据えて、大使館や観光企業をターゲットとした上映会を東京で開催することで映画関連事業の奈良への招致を進めるとともに、映画撮影地の自治体で構成している「NARActive撮影地ネットワーク協議会」のPRパンフレットの英語版を作成します。</p>							
【2. 「稼ぐ力」向上のための人材創出事業】							
<p>① 稼ぐ力向上のための天理ブランド活用促進事業</p> <p>引き続き、ブランド各部門において製品の認定を進めていきます。併せて、ブランディングHPに関する保守委託を行い、新たに認定した製品に関する追加掲載等、PRを強化します。</p> <p>また、天理ブランド「めぐみめぐるてんり」普及のため、昨年度に引き続き近鉄百貨店橿原店と連携し、天理市×プラグスマーケット近鉄橿原店のコラボ企画として「天理のめぐみコレ」と題した天理市の秋の味覚やご当地の人気・自慢の商品の販売会を開催します。</p>							

② 「共創場」としての天理ブランド市開催委託業務

令和6年度から、新たに天理大学・モンベル共同体と連携し、天理駅前を産官学連携による人材育成・産業創出・活躍の場づくりとします。天理駅前に開設した、天理大学サテライトキャンパスにおける観光・農業の講義の開講に加え、共同体が展開するショップや観光案内所でのインターンシップの実施により、「学び」から「実践」までを切れ目なく行う人材育成のプラットフォームを構築します。

共同体との連携事業の一環として、本市の特産品の販売・PRについても共同体に委託し、柿やいちご等の地場産品の販売や物産販売イベントとして天理駅前広場コフンにおいて「てんだいフェスタ」を開催します。市内・県内で生産・製造された多くの特産品を市内外にアピールすることで、特産品に対する再認識を促し「天理ブランド」のブランド力向上及び販路拡大を図ります。

※ 令和6年度より、デジタル田園都市国家構想交付金の新規事業として実施します。
「観光・農業振興に向けた産・官・学連携人材育成プラットフォーム構築プロジェクト」

③ 特産品開発事業補助金

今後も農産物の魅力を国内外に発信することを目的に、柿、イチゴ等の本市特産品の効果的なPR活動を展開し、地元産業の周知及び再認識を図ります。特産品開発委員会を通して天理ブランドとして認定された柿の販売数維持のために、県外だけでなく海外輸出を見据えた販売促進活動を支援します。

また、地産地消の取組みによる天理の特産品を使った加工品を検討し、製品化を地域と連携して進めていきます。

事業担当課		対象事業
市長公室	総合政策課	【1】① ③
くらし文化部	文化スポーツ振興課	【1】①
教育委員会事務局	文化財課	【1】②
教育委員会事務局	まなび推進課	【1】③
環境経済部	産業振興課	【2】①
環境経済部	農林課	【2】② ③

1. 基本事項

事業名	移住定住促進と関係人口創出によるまちづくり推進事業
総事業費	11,895,358 円
事業概要	暮らし方や働き方の見直し(リビングシフト)により、都市から地方回帰の流れも高まりつつあります。そのような中、地方への移住者の受け入れ態勢の整備が今まで以上に注目を集めており、いかに安心して充実した生活を送ることができる場所として選ばれるかが重要となっています。 本市の人口は、1995年の74,188人をピークに減少傾向が続いています。 本市で最も人口減少、高齢化率の高い福住校区においては、移住希望者と移住先の地域住民とのかけ橋となる組織の活動により、空き家を利用した移住者を受け入れることが実現し、小規模特認校制度の導入と併せ、地域の児童・生徒の増加につながっています。 空き家を活用した移住施策を推進するとともに、人と人とのつながりが希薄になる中、地域の担い手と外部の支援者がともに地域課題の解決や関係人口の創出を図り、移住者を含めた多世代の住民が多様な関係性を構築し、地域の住民が充実して過ごせるまちづくりを推進していきます。 この取組みを推進するため、地方創生推進交付金を活用し、「移住定住促進と関係人口創出によるまちづくり推進事業」を実施していきます。

2. 重要業績評価指標

指標名	基準値	目標値	実績値		
	R2	R5	R3	R4	R5
事業を通した移住世帯数(世帯)	6	10	8	4	4
事業を通した移住談件数(件)	70	80	206	155	103
事業を通した関係人口数(人) ^{※1}	-	300	-	-	67

※1の数値は、「おてつたび」と「スポーツツーリズム」の参加者数の合計です。

3. 事業効果

令和5年度の事業実績	
【1. 移住促進事業】	6,750,000 円
① 移住促進委託料	250,000 円
<p>移住者の移住前から地域住民と交流する機会をセッティングし、移住者が地域になじめるよう、また、地域住民も安心して移住者を迎えらるようサポートしました。</p> <p>自然豊かな高原地域への移住希望者が増加している一方で、紹介できる空き家が十分でないことから、地域でのイベント等で空き家活用の説明や事例紹介を行い、空き家の掘り起こしを積極的に行いました。また、移住の事例紹介パンフレットを作成し地域に配布することで、地域の空き家活用や移住者の受け入れの機運醸成を図りました。</p>	
② 大和高原「福住村」プロジェクト負担金	6,500,000 円
<p>旧福住中学校を活用した地域交流イベント「市(いち)」を3回(7月、11月、3月)開催しました。また、耕作放棄茶畑再生事業のPRを目的とした映像作品を高原地域で撮影し、地元住民やプロジェクト関係者向けの試写上映会を地域交流イベント「三月市」において実施するとともに、「持続可能な循環型の里山づくり」というコンセプトのもと、有機農業による地方の再生を目指し「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。</p>	
	<p>『移住定住促進グループ椽 地元向けパンフレット』</p> <p>『オーガニックビレッジ宣言』</p> 

【2. 多世代活躍・関係人口創出事業】 4,328,358 円

① 多世代活躍関係人口創出事業補助金 200,000 円

住民が自主的に行うコミュニティ活動を支援することで、多世代の活躍、地域の課題の解決、多様な関係性を構築するため、9校区の校区区長会が実施した多世代活躍事業に対し補助金を交付しました。校区の伝統行事やスポーツレクリエーション、農産物のふれあい収穫体験などに活用されました。

② 地域経済活性化事業(おてつたび事業)補助金 1,000,000 円

柿の三大品種「刀根早生柿」発祥の本市において、伝統の柿産地を守るため、山の辺の道周辺での農業を観光資源として活用する「おてつたび」を実施し、31名の参加がありました。

柿農家の人手不足解消を図るとともに、参加者が地域を観光することで関係人口の創出、地域経済の活性化を図りました。

③ 天理市スポーツツーリズム推進協議会負担金 666,371 円

「スポーツのまち天理」が世界に誇るスポーツコンテンツと、天理の豊かな自然、歴史・文化資源を掛け合わせたスポーツツーリズムを実施しました。新たな観光を提案、天理ブランドの魅力発信、交流人口の増加や定住促進につなげるために、ラグビー観戦ツアー、海外アスリート向け市内観光ツアー、柔道ジュニア向け体験ツアーを実施し、合計36名の参加がありました。

④ 地域内外交流促進事業委託料 2,461,987 円

高原地域振興館では、毎週水曜日に放課後の「キッズサロン」を開催し、音楽や芸術をはじめ季節ごとのイベント等、学校教育とは異なる学びや体験活動を行いました。また、7月には子どもから高齢者まで幅広い年代の人が地域内外から訪れる夕涼み会を開催しました。



『おてつたび』



『スポーツツーリズム』



『キッズサロン』

【3. しごとマッチング支援事業】 817,000 円

① 創業、起業等相談会事業 520,000 円

国の認定連携創業支援事業者(商工会)と連携し、移住を含めた市内での創業希望者に対して、特定創業支援事業に必要な4分野を学ぶ「創業スクール」を開催し、定員20名に対して20名の参加がありました。

② サテライトオフィス等利用促進事業委託料 297,000 円

サテライトオフィスを利用している事業者とテレワークセンターのPR動画を作成し、YouTube等で広く周知しました。動画は石上神宮や龍王山などの観光地紹介も兼ねており、ワーケーションを想起させる内容としました。



『創業スクール』



『テレワークセンター PR動画』

4. 今後の事業の方針

令和6年度の事業予定							
拡充		継続	○ (交付金事業)	縮小		事業終了	
交付金事業として2年間延長されたため、事業内容を見直しながら継続します。							
【1. 移住促進事業】							
① 移住促進委託料							
<p>移住定住促進グループ「椽」では、少子高齢化と人口減少が急速に進んでいる高原地域において、増加する空き家を活用し移住者を受け入れることで、地域の活性化を図ります。移住者も地域も安心した移住が実現できるよう、高原地域への移住を希望する人と空き家所有者のマッチングを行うほか、移住者が地域にスムーズに馴染めるようサポートを行います。</p> <p>引き続き、空き家の掘り起こしを行うほか、お試し居住や移住希望者と移住者・地元住民が交流できる施設の整備等、空き家の活用について民間事業者等との協働も視野に検討を進めます。</p>							
② 大和高原「福住村」プロジェクト負担金							
<p>高原地域における持続可能な循環型の里山づくりの実現を目指し、旧福住中学校において、地域交流イベント「市」の開催や耕作放棄茶畑を活用して作った「里山三年晩茶」の販促、福住小中学校との教育連携等、高原地域の活性化に資するプロジェクトを官民連携により引き続き実施します。</p>							
【2. 多世代活躍・関係人口創出事業】							
① 多世代活躍関係人口創出事業補助金							
<p>地域コミュニティの活性化や多様な関係性を構築する新たな地域の絆づくりを目的として、校区区長会が中心となって実施する、多世代の活躍や地域課題の解決及び関係人口の創出につながる活動に対し補助金を交付します。</p>							
② 地域経済活性化事業（おてつたび事業）補助金							
<p>引き続きおてつたびを実施し、協議会・おてつたび・市役所の三者が連携し、萱生地域推進協議会に属する農家へ手伝いを希望する人を派遣し、関係人口の創出や地域経済の活性化につなげます。</p>							
③ 天理市スポーツツーリズム推進協議会負担金							
<p>「スポーツのまち天理」が世界に誇るスポーツコンテンツと、天理の豊かな自然、歴史・文化資源を掛け合わせたスポーツツーリズムを推進し、スポーツを通じて地域経済の活性化を図ります。新たな観光を提案、天理ブランドの魅力発信、交流人口の増加や定住促進につなげるために、ラグビー解説付き観戦ツアー、バレーボールファンのためのファンミーティング、柔道愛好家のための柔道体験ツアー及び海外アスリート向けの市内観光ツアーを実施します。</p>							
④ 地域内外交流促進事業委託料							
<p>高原地域振興館を拠点とし、多世代が交流する機会の創出や、アートやe-スポーツを活かした地域内外の人たちが交流できるイベントを開催します。</p>							

【3.しごとマッチング支援事業】

① 創業、起業等相談会事業

国の認定連携創業支援事業者（商工会）と連携し、移住を含めた市内での創業希望者に対して、特定創業支援事業に必要な4分野を学ぶ「創業スクール」を引き続き開催し、市内での創業希望者を支援します。

また、移住を見据えた創業者を対象者として、商工会や他の新規創業者とマッチングすることで、移住者等の創業・就労を支援し、孤立させないための取組みを推進します。

② サテライトオフィス等利用促進事業委託料

テレワークセンターを拠点としたワーケーションの浸透を図るため、お試してサテライトオフィスへ入居希望の企業とのマッチングを実施する等、関係人口の創出及び移住者の増加を図ります。

事業担当課		対象事業
市長公室	総合政策課	【1】①②、【2】④
市長公室	市民総活躍推進課	【2】①
環境経済部	農林課	【2】②
くらし文化部	文化スポーツ振興課	【2】③
環境経済部	産業振興課	【3】①②